

ロボパ 新聞



皆さん、こんにちは。
今、世の中では「平成最後の〇〇」が流行していますね。皆さんにとって大切な「平成最後の〇〇」は何ですか？私は4月にある「平成最後の三瓶登山」を無事登りきる事です！それでは、ロボパ新聞17号をお届け致します。

平成



2019年(平成31年)3月4日(月)発行 / 第17号



ロボット
トリビア

ロボットに命を吹き込む仕事 -ロボットシステムインテグレータ-

現在、三光電業では、ロボットSI技術者として坪井係長が大活躍されています。そのお仕事ぶりは、私が言うまでもありませんね。三光電業(株)はロボットシステムインテグレータとして、一般社団法人 日本ロボット工業会に所属する「FA・ロボットシステムインテグレータ協会」の会員です。そこで、今回は「ロボットシステムインテグレータ」について触れたいと思います。「ロボットシステムインテグレータ(ロボットSier)」とは、ロボットを使用した機械システムの導入提案や設計・組立などを行う事業者です。ロボットの導入を検討する企業の現場課題を分析し、最適なロボットシステムを構築するために、様々な機械装置や部品などから必要なものを選択し、システムとして統合するエキスパートです。(※一般社団法人 日本ロボット工業会HPより) ニュースなどで報じられているように、少子高齢化の急速な進行により、日本の生産年齢人口(15~64歳の人口)は減少の一途を辿っています。働き手が減っていく状況の中で、生産性向上を実現するロボットの利用・活用が急務となっています。ですが、皆さんも良くご存知のようにロボットは買ってすぐに使える、という物ではありません。導入される現場に合わせたロボットシステムとして創り上げ始めてロボットは機能します。まさしく、「ロボットに命を吹き込む仕事」。それを司るのがロボットSierなのです。経済産業省が行ったロボットSier企業に行った調査では、ビジネスの引き合いが増加傾向の一方で、自社のロボットシステムエンジニアの人員について不足していると回答した企業が9割を超えているという結果でした。将来的な発展が見込まれる分野で人材が大きく不足しているのが実情です。逆に捉えると、ロボットSierにとっては、大きな活躍のフィールドが広がっているとも言えるのです。



リニューアル 完了目前!

リニューアルの完成が目前となってきました。現在、システムの稼働調整はほぼ終了しており、後は、微調整と掲示物(ポスターなど)の仕上げを残すのみとなりました。リニューアルに伴い、カウンターうしろのサインも変更しました。今後は、ご来場のお客様へのおもてなしのひとつとして、季節ごとの装飾を検討中です。



ものづくり教室 開催日等決定!

以前、告知していたものづくり教室の開催日などが決定しました。現時点でお知らせできる内容を記載致します。現在、チラシの作成も行っております。近日、配布もしくはデータで配信予定です。皆様、各所への通知など宜しくお願い致します。

日 2019年3月27日(水)
時間 午前の部 10:00~
午後部 13:30~
場所 ロボットパークひろしま
対象 小学4年生~中学3年生
※コースにより対象学年が異なります。
費用 ¥2,000(当日お支払い)